

首都圏外郭放水路



日本が誇る防災地下神殿

首都圏外郭放水路は、洪水を防ぐために建設された世界最大級の地下放水路です。中川、倉松川、大落古利根川、18号水路、幸松川といった中小河川が洪水となった時、洪水の一部をゆとりのある江戸川へと流すことができます。

首都圏外郭放水路の完成によって、周辺地域で浸水する家屋の戸数や面積は大幅に減り、長年洪水に悩まされてきた流域の被害を大きく軽減しました。



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆ 静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

※ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集!

掲載の方には
2,000円分の
図書カード
進呈!



東京直下 72h TOUR

もしここで大地震がおきたら…

国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければなりません。その目安は3日間、72時間といわれています。

72時間、どう生き残るか?

「東京直下72hTOUR」は、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発災から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです。



○東京直下 ~72h TOUR~

エレベーター内にて震度7の地震が発生した設定にて、床が震動し緊急停止。エレベーターから外に逃げ出し、暗い通路を抜けると災害後の街並みがリアルに再現された薄暗い空間に辿り着く。

音響・照明・映像により余震が繰り返される駅前の商店街や住宅地の電柱が倒れていたり、火災がまさに発生する直前の様子などがリアルに再現されており、こんな時にどうしたら…などクイズに回答しながらゴール(避難所)を目指していく。

「外出先で地震にあったら?」「自分の住むまちで地震にあったら?」2つのシナリオで当事者意識を持ちながら、何度もツアーを体験することができる。

○津波避難体験コーナー

津波が起きた場合の注意点や、津波の恐ろしさを映像などで学べるエリア。映像や壁面に描かれたイラストで、津波について正しい知識を学ぶことができる。

日本が誇る世界最大級の防災地下神殿! 首都圏外郭放水路



日本の首都圏で水害を軽減することを目的とした治水施設。

埼玉県春日部市の上金崎地から小淵にかけての全長約6.3km、国道16号直下約50m地点に設けられた世界最大級の地下放水路である。周辺の中川、倉松川、大落古利根川、18号水路、幸松川といった中小河川が洪水となった時、これらの洪水の一部を江戸川に流し、洪水の被害を軽減する。

各河川から洪水を取り入れる「流入施設」と「立坑」、洪水を流す地下河川の「トンネル」、そして地下空間で水の勢いを弱め、スムーズな流れを確保する「調圧水槽」、さらに地下から洪水を排水する「排水機場」などで構成されている。

○第1立坑(キャットウォークより見学)

深さ約70メートル、内径約30メートルの巨大な竖穴。作業用の通路(キャットウォーク)1周&立坑内の階段昇降で、竖穴の迫力を存分に体験した。



第1立坑(ハーネス、ヘルメットを装着して見学)



第1立坑からみた調圧水槽



稼働時の流入状況

視察特集
72時間、どう生き残るか?
東京臨海広域防災公園
The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park

そなエリア東京
防災体験学習施設



広報委員会(松下進一委員長)では、11月10日~11日にかけて、日本の治水・防災減災対策の研修として埼玉県春日部市にある「首都圏外郭放水路」と東京臨海広域防災公園内にある「そなエリア東京」を視察してきました。

東京臨海広域防災公園
The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park

東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したとき、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。

※大規模災害が起きたときには上記のような機能となるため、避難場所としてはご利用になれません。

平常時には、花と緑があふれる国営公園(6.7ha)と都立公園(6.5ha)が融合した広大なスペースで、軽い運動やピクニックを楽しむなど、休憩・休息の場として広くお客様に使っていただける公園です。公園外周には緑陰となる樹木や花木が植えられており、海風に当たりながら、季節感を感じることもできる、心地よい空間です。広大な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練や様々なイベントが実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶことができます。

1F 防災体験ゾーン

津波避難体験コーナー

2F 防災学習ゾーン

一人ひとりのそなえ
その人だからこそそなえてもらいたいそなえのエリア。人それぞれの特徴や暮らしに合わせたそなえがあります。自分や大切な人のために必要なそなえを探して持ち帰ろう。

その他にも、以下の見学場所があります。
首都直下地震特設コーナー / 事例に学ぶ自動的知恵コーナー / オペレーションルーム見学室 / グッズ展示



遠州森の宮山 三島神社

御祭神 大山祇命(おおやまづみのみこと) 相殿 譽田別命(ほんだわけのみこと) 合祀 天満自在天神(てんまんじざいてんじん) 伊弉册命(いさなみのみこと)
御神徳 御祭神は、山の神様の代表格とされています。山嶽神、海神、水神、武神、農神として信仰され、娘の結婚を祝つてお酒を造つたという神話から酒造の神様としても信仰されています。
御由來 明確な年代は不明だが、太田川の恩恵を受ける以上に、度重なる氾濫に悩まされたであろう人々が郷土の安全、開発、発展を願ひ、おそらく室町時代の中心に村の守り神として創建したものであろう。その後も森の人々の信仰の源であり、住民とともに生き続けてきたが、その後兵火のため焼失し、慶長17(一六一二)年に再建するも寛文元(一六六一)年に市中大火で再度焼失し、寛文12(一六七二)年に再建された。
明治に入り、浜松県庁(当時は浜松県、静岡県、足柄県)の命により、一時天宮神社に遷座し、明治12年2月に復社、遷宮式を行い、村社に列せられ、大正12年社殿を改築し現在に至っている。
昭和48年には森町内のお雛子保存会・常磐会から長さ3m、10m、直径15cmの横笛が奉納され、平成31年4月、令和元年5月に修繕作業が行われ、令和元年6月吉日に再奉納され、飾られている。

御由來

御祭神

御祭神 大山祇命(おおやまづみのみこと) 相殿 譽田別命(ほんだわけのみこと) 合祀 天満自在天神(てんまんじざいてんじん) 伊弉册命(いさなみのみこと)

中東遠の神社を訪れる 16



男坂



横笛



御神輿

神楽舞奉納

神輿渡御

舞見還し

御神幸行事(森のまつり) 何時から始まったか、詳しくはわからないが、相当古い時代から素朴な村々のお祭りの行事がなされていたものと思われ、現在の形態のお祭りは、おそらく江戸時代以降にできたものと思う。毎年11月の第一金曜日(年度によっては変更あり)に行われ、舞見による舞の奉納、御祭神を奉った御神輿の渡御、遷御などが執り行われます。祭典中に引き回される14社(町内)の豪華絢爛な二輪屋台「森の喧嘩まわり」と呼ばれるほどの勇壮な屋台の引き回し、町の中心部で行われる「練り」など、遠州地方を代表するお祭りとして、毎年雄大な祭り絵巻が繰りひろげられます。最終日の夕方には、三日間氏神様へ仕えた舞見を、各町内の屋台正面の欄干に乗せて自宅まで送り届ける「舞見還し」が行われ、お祭りの盛り上がりは最高潮を迎えます。

御神幸行事(森のまつり)

第16回は、森町にある三島神社です。大古からの歴史を持ち、三島山の宮森の下から森の街々が発展し、この宮森が森町の地名となったといわれています。三島神社の御祭神は、遠州地方を代表する祭りにあり、「森の喧嘩」と呼ばれ、豪華絢爛、雄大な祭り絵巻が繰りひろげられます。

ステーション 建設STATION



創立100周年。「100ページ目。物語はまだ続いていく。」 静岡県立磐田南高等学校 新校舎棟



老朽化した旧校舎に替わる新校舎棟を建設しました。校舎建て替えにあたり、学校敷地内南側については遠江国分寺史跡による文化財埋設の可能性があり、新校舎建設予定地が制限された中での建設計画となりました。建物の特徴は以下のとおりとなります。

- ①校舎は回遊性をつくる口の字型で、1階生徒モールと中央吹き抜けにより風の通り道ができ、校舎全体にやさしい風が抜ける。
②校舎北側の高さを低く抑え、かつ窓を少なくすることで、北側隣家への日影とプライバシーに配慮。
③校舎西面は角度の付いた縦型ルーバーを設け、西日対策と北西からの「遠州のからっ風」を分散、また北側隣家への視線を遮る。
④普通教室が並ぶ校舎南東面は深い庇を設置し、夏期は室内への日射を抑え、冬期は十分な採光を確保できる。
環境への配慮として、LED照明を使用し人感センサーや照度センサーを設置することにより照明エネルギー消費の削減および庇やルーバーを配置し日光を遮蔽し、高効率の空調機を導入することで空調エネルギー消費を削減。



設計・監理 企業組合 針谷建築事務所
施工 建築工事 :石川建設(株) 電気設備工事:浜電工業(株) 機械設備工事:株永井設備商会

工事概要 工事名: 令和3年度磐田南高等学校校舎棟新築他工事(建築/電気設備/機械設備) 工事場所: 静岡県磐田市見付地内 工期: 令和3年10月15日~令和5年3月1日 発注者: 静岡県知事 川勝平太 敷地面積: 48,257㎡ 建築面積: 新校舎棟3,760㎡ 部室棟263㎡/渡廊下棟43㎡ 延床面積: 新校舎棟9,661㎡/部室棟259㎡ 構造: 新校舎棟 鉄骨造地上4階建て 部室棟 鉄骨造地上平屋建て 渡廊下棟 鉄骨造地上平屋建て 規模: 地上4階/最高高さ: 約19.5m

協会活動報告

令和5年7月～10月

理事会

- 7/18(火)第3回理事会
 - ・袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会の開催方針
 - 会員研修の実施
 - 協会活動報告(正副会長職務執行状況)
 - 経営者セミナーの実施
 - 令和5年度静岡県優秀施工者表彰受賞者の決定
 - 道路河川愛護運動の実施計画
 - 第17回献血活動の実施 ほか
- 9/6(水)第4回理事会
 - 安全委員会委員の変更
 - 袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会の開催
 - 県交通基盤部との意見交換
 - 県協会県下一斉情報伝達訓練の実施結果
 - ドローンを活用した災害時活用実証実験への協力
 - 親睦ゴルフ大会及び懇親会の開催
 - 県協会第4回理事会の概要 ほか
- 10/12(木)第5回理事会
 - 袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会における意見要望等
 - 次期役員選出選任スケジュール等
 - 静岡県建設業協会もの創り大賞の申込
 - 道路河川愛護運動の実績報告
 - 県協会第5回理事会の概要 ほか

委員会等

- 正副会長会議
 - 7/18(火)第6回正副会長会議
 - ・第3回理事会協議事項・報告事項
 - ・会員研修の再案内
 - ・敷地川災害応急復旧工事の協力要請に関する申入れ

その他の行事

- 7/27(木) 静岡県西部地区災害対策用機械操作訓練(浜松河川国道主催) 【参加会員8社15名】
- 8/23(水) 静岡県西部地区道路啓開検討会作業部会(浜松河川国道・県西部地区地域局共催) 【Web開催】
- ・今年度の取組 ほか
- 8/25(金) 静岡県建設業協会県下一斉情報伝達訓練 【参加会員48社】
- 8/28(月) 県交通基盤部との意見交換(参加者5名)
- 8/31(木) ドローンを活用した災害時活用実証実験(浜松河川国道主催) 【協力会員4社6名】



表彰

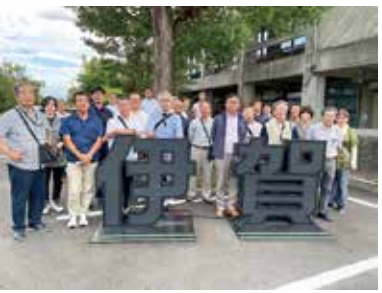
- ◆令和5年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰
 - 寺田敏宏 平野建設(磐田市)
- ◆令和5年度 静岡県優秀施工者知事表彰
 - 伊部隆嗣 掛川土木(掛川市)
 - 柴田修 掛アキヤマ(磐田市)
- ◆令和5年度 建設業社会貢献活動推進月間功労者表彰
 - 榎小原組 (菊川市)
- ◆令和5年度 中部地方整備局優良工事等表彰
 - 浜松河川国道事務所長表彰
 - 優良施工者・優良技術者
 - 榎鈴恭組・大石博之 (磐田市)

ドローンを活用した災害時活用実証実験への協力

- 県交通基盤部との意見交換 ほか
- 9/6(水) 第7回正副会長会議
 - ・第4回理事会協議事項・報告事項
 - ・次期役員選出選任スケジュール等
 - ・第5回理事会報告事項
 - ・災害対策本部募集訓練 ほか
- 10/12(木) 第8回正副会長会議

総務委員会(労務委員会)

- 7/6(木) 第2回総務委員会
 - ・会員研修の実施
 - ・経営者セミナーの実施
 - ・親睦ゴルフ大会及び懇親会の開催 ほか
- 8/29(火) 経営者セミナー
 - ・SDGs入門(株サネット)
- 9/15(金) 第17回献血活動
 - 【献血者46名】
 - 【参加者20名】
- 9/22(金)・23(土) 会員研修
 - ・琵琶湖伊賀上野



- 10/26(木) 親睦ゴルフ大会
 - ・葛城ゴルフ倶楽部 山名コース
 - 【参加者11名】
- 安全委員会
 - 7/6(木) 第3回安全委員会
 - ・当面の活動について
 - 7/6(木) 第37回袋井地区建設業安全大会
 - 【参加者47名】
 - ・安全管理優良事業場等の表彰
 - ・安全重点目標・安全の誓い ほか

令和5年度 静岡県優良建設工事表彰

- ◆交通基盤部長表彰
 - ◇土木工事
 - 優良技術者部門 榎牧野組 (菊川市)
 - 牛見和生
 - IC工優良工事部門 榎鈴恭組 (磐田市)
 - 維持管理業務部門 正光建設 (森町)
 - 建築・設備工事 優良工事部門 石川建設 (磐田市)
 - ◇経済産業部農林水産担当部長表彰
 - 優良土木工事 榎川島組 (掛川市)
 - 優良土木工事 鈴木秀太 榎大浜中村組 (掛川市)
 - 石橋一郎 榎アキヤマ (磐田市)
 - 八木広行 榎増田組 (御前崎市)
 - 浅井孝介 石川建設 (磐田市)
 - ◇安全工事部門
 - 優良工事部門 榎鈴恭組 (磐田市)
 - 優良技術者部門 掛川土木 (掛川市)
 - 榎廣宗建設 (磐田市)
 - ◆袋井土木事務所長表彰
 - 優良工事部門 掛川土木 (掛川市)
 - 優良技術者部門 榎廣宗建設 (磐田市)
 - ◆中遠農林事務所長表彰
 - 優良技術者部門 榎林組 (掛川市)
 - 榎林由維 榎永井組 (掛川市)
 - 榎大正志 榎永井組 (掛川市)
 - 赤澤勇次 榎林組 (掛川市)
 - 鈴木清美 榎林組 (掛川市)
 - 林 紀一 榎東豊興業 (掛川市)
 - ◆企業局西部事務所長表彰
 - 優良工事部門 平野建設 (磐田市)
 - ◆維持管理業務部門
 - 岡田建設 (掛川市)
 - 榎林組 (掛川市)
 - 榎深谷組 (掛川市)
 - 地域貢献部門 榎ヤマグチ (磐田市)
 - 榎倉石 (掛川市)
 - 安全工事部門 岡田建設 (掛川市)

- 7/12(水) 第4回安全委員会
 - ・今後の活動について
 - 【受講者54名】
- 7/12(水) 安全研修会
 - ・建設業における死亡災害防止と改正安全衛生規則(磐田労基署)
 - ・建設工事の安全対策(袋井土木)
 - ・建設現場における技術者のための安全かつ効率的な働き方改革(社会保険労務士行政書士石川事務所)
- 10/5(木) 6(金) 第60回全国建設業労働災害防止大会(広島)
 - 【参加者8名(会場4名, Web4名)】
- 10/17(火) 三者合同安全パトロール(袋井森地区)
 - 【参加者9名(磐田労基署・中遠農林協会安全委員)】
- 10/18(水) 三者合同安全パトロール(掛川地区)
 - 【参加者7名(磐田労基署・袋井土木協会安全委員)】
- 10/27(金) 第50回静岡県建設業労働災害防止大会(静岡労政会館)
 - 【参加者11名】

広報委員会

- 7/14(金) 第4回広報委員会
 - ・会報「つちおと」第158号(8/1発行)の校正
- 8/18(金) 第5回広報委員会
 - ・会報「つちおと」第159号の編集計画
- 9/20(水) 第6回広報委員会
 - ・会報「つちおと」第159号の編集
- 10/19(木) 第7回広報委員会
 - ・会報「つちおと」第159号の原稿確認

土木委員会

- 8/9(水) 第19回親子現場見学会
 - 【参加者41名(うち親子16組32名)】
 - ・電洋海岸静岡工場防潮堤建設現場(浜松城天守閣)ほか



- 建築委員会
 - 8/24(木) 第1回建築委員会
 - ・令和5年度の事業計画 ほか
- 環境・災害対策委員会
 - 7/25(火) 第2回環境災害対策委員会
 - ・災害対策・家畜伝染病対策に関する県関係機関との意見交換会に対する意見・要望 ほか
 - 7/25(火) 家畜伝染病協定締結団体研修会
 - 【参加者10名】
 - 【県畜産振興課主催】
 - 10/13(金) 養鶏施設卸却等候補地現地確認
 - 【参加者4社7名】
 - 10/20(金) 養鶏施設卸却等候補地現地確認
 - 【参加者5社8名】
 - 10/25(水) 袋井建設業協会災害対策本部要員参集訓練
 - 【参加者13名】
 - ・会館機能確保・物資資機材確保 ほか
 - 10/25(水) 第3回環境災害対策委員会
 - ・養鶏養豚施設卸却等候補地現地確認結果・家畜伝染病に係る出役要員体制の見直し ほか

研修会・講習会

- 7/28(金) 第2回技術者講習会
 - 【受講者56名】
 - ・令和5年度におけるBIM/CIM対応・対策セミナー(福井コン・ユータ)
 - ・安全書類の電子化ツールを活用した現場の働き方改革と建設キャリアアップシステムへの円滑な対応(シエルフイー)
 - ・工事検査から見た現場管理(中遠農林)
- 9/13(水) 第3回技術者講習会
 - 【受講者34名】
 - ・盛土事例と建設発生土(県技術調査課)
- 9/13(水) 第4回技術者講習会
 - 【受講者30名】
 - ・点群データの災害時の活用(榎豊、福井コン・ユータ)
- 9/26(火) 第5回技術者講習会
 - 【受講者19名】
 - ・技術者のためのChatGPT講習会入門編(名倉一十郎研究所)
- 9/26(火) 第6回技術者講習会
 - 【受講者15名】
 - ・技術者のためのChatGPT講習会応用編(名倉一十郎研究所)
- 10/6(金) 監理技術者講習
 - 【受講者30名】

建設事業主のみなさま

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました!

- ①電子申請方式とは

証紙に代わる「退職金ポイント」という電子ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済者の掛金として充当するものです
- ②電子申請方式の申し込み方法は

電子申請方式申込書をダウンロードし建退共支部に提出

電子申請方式のメリット

- ①金融機関で証紙を購入する必要はありません
- ②手帳への証紙貼付や下請への現物交付が不要
- ③共済証紙受払簿の作成・管理が不要
- ④新規手帳申込等がオンライン申請できます
- ⑤加入履歴証明願の作成が負担軽減
- ⑥公共工事における関係書類の電子化に対応

建設業のみなさま! 安心できる未来をつくる! 建退共 電子申請で掛金納付をもっと便利に!!

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です。

国が作った退職金制度なので安心かつ確実! 制度説明動画配信中

けんたいきょう

建設業退職金共済事業本部

【電子申請方式の操作方法についてのお問合せ先】 TEL0120-006-175

建退共静岡支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階 TEL 054-255-6846



安全の道しるべ



安全研修会 7月12日(水)

於:袋井建設業協会 2階大会議室



あいさつ
袋井建設業協会 中山勝義安全委員長

講演 磐田労働基準監督署
紫尾安全衛生課長

3名の講師をお招きし、本年は4年ぶりに通常開催となりました。当日は60名が参加しました。

- 磐田労働基準監督署 紫尾雄岳安全衛生課長
演題「建設業における死亡災害防止と改正安全衛生規則」
- 静岡県袋井土木事務所 澤口奨則検査監
演題「建設工事の安全対策について」
- 社会保険労務士・行政書士 石川事務所 石川貴広社労士
演題「建設現場における技術者のための安全かつ効率的な働き方改革について」

第60回 全国建設業労働災害防止大会 in 広島(ハイブリッド開催)

10月5日(木)・6日(金) 於:広島県立総合体育館 他



総合参加者数 4,300名
当会場地4名、オンライン4名参加

安全衛生表彰
【優良賞】 掛川土建(株)

第50回静岡県建設業労働災害防止大会

10月27日(金) 於:静岡労政会館 6階ホール



静岡県内から223名参加 当会より11名参加

- 【事業場賞】 石川建設(株) 大沼建設(株)
- 【功 労 賞】 (株)西島土木 西島正浩
(株)村田建設 村田圭吾
- 【功 績 賞】 丸明建設(株) 村松敬祐
- 【職 長 賞】 中山建設(株) 大石良次

【安全標語 佳作】 丸明建設(株) 塚本明佳里



森本哲生危機管理部長 特別講演

官民合同による三者合同パトロールを2日に分けて実施しました。



実施日 10月17日(火) 参加 9名
磐田労働基準監督署 樽澤労働基準監督官
中遠農林事務所 大野 薫検査監 他 2名
袋井建設業協会安全委員会・建災防袋井分会
中山安全委員長 他 袋井森地区安全指導者 4名
実施箇所 中遠農林事務所管内 2現場(森町三倉)

実施日 10月18日(水) 参加 7名
磐田労働基準監督署 鷹野安全専門官
袋井土木事務所 澤口奨則検査監
袋井建設業協会安全委員会・建災防袋井分会
落合安全副委員長 他 掛川地区安全指導者 4名
実施箇所 袋井土木事務所管内 2現場(掛川市満水・結縁寺)

これい〜ね!



安全標識の掲示がまんべんなく
されていて良い。



ハザードマップが丁寧に掲示され
ていて良い。

すぐ直そう!!



差筋の養生を適切にすること。
安衛則第28条の2



停止時はキーを抜くこと。
安衛則第151条の11

建設業年末年始労働災害防止強調月間
令和5年12月1日~令和6年1月15日

「無事故の歳末 明るい正月」